

大阪・関西万博の最新の動向

令和 4 年 1 1 月

内閣官房

経済産業省

1. 大阪・関西万博の概要

(1) テーマ・コンセプト

テーマ : いのち輝く未来社会のデザイン
コンセプト : 未来社会の実験場



(2) 開催場所 : 夢洲 (大阪市臨海部)

(3) 開催期間 :

2025年4月13日 ~ 10月13日 (184日間)

【会場鳥瞰図】



名称

◆日本語 (正式) : 2025年日本国際博覧会
同 (略称) : 大阪・関西万博

これまでの取組・今後のスケジュール

【2016年】 12月22日 : 万博誘致の関係省庁連絡会議の発足

【2017年】 4月7日 : 万博誘致の立候補 (閣議了解)

【2018年】 11月23日 : 誘致決定

【2019年】 12月20日 : 登録申請書の提出に係る閣議決定

【2020年】

9月16日 : 万博特措法施行

(国際博覧会担当大臣の任命、内閣に推進本部設置)

12月1日 : BIE総会 (開催計画承認、参加招請の開始)

12月21日 : 基本方針の閣議決定

【2021年】

8月27日 : インフラ整備計画の決定 (万博推進本部決定)

12月24日 : アクションプランの決定 (万博推進本部決定)

10月~2022年3月 : ドバイ万博

【2022年】

6月10日 : アクションプランVer.2の決定 (万博推進本部決定)

7月18日 : 1000日前イベント (東京・大阪で開催)

12月 (P) : アクションプランの改訂 (万博推進本部決定)

【2023年】

4月 (P) : 起工式・会場内パビリオン建築工事開始

年内 (P) : 前売り入場券販売開始

2. 万博の進捗とスケジュール



3. 大阪・関西万博の意義

いのち輝く未来社会へ

- 新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の、新たな時代に向け、世界が一つとなることに意義があり、いのち輝く未来社会のありようを共有することは2025年以後の世界の新たな一歩となる。

SDGs達成・SDGs+beyondへの飛躍の機会

- SDGs達成に向けたこれまでの進捗状況を確認し、その達成に向けた取組を加速させる絶好の機会とする。
- 中長期的な視野を持って未来社会を考えることを通じて、2030年のSDGs達成にとどまらず、その先(+beyond)に向けた姿を示す。

Society5.0実現に向けた実証の機会

- 会場全体を未来社会を先取りした超スマート会場とし、新たな技術、サービス及びシステムの社会実装に向けた「未来社会の実験場」とする。

日本の飛躍の契機に

- 万博会場において、DX(デジタルトランスフォーメーション)による社会変革の新たな形や、地球環境問題への新たな挑戦の形を世界に示す。
- 経済、社会、文化等あらゆる面において、大阪・関西のみならず、日本全体にとって更なる飛躍の契機とする。

※ DX(デジタルトランスフォーメーション)：将来の成長等のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

4. 会場レイアウト



5. 大屋根（リング）の新パース図

※2022年7月13日に公開

会場パース図（夕景）



リング外観



リンググラウンドウォーク内観（昼景）



リングスカイウォーク（昼景）



【参考】大阪・関西万博 フライスルー（会場イメージ）動画（2022年10月公開）

<https://www.youtube.com/watch?v=Wq7ravMwEyo>

6. 2025年大阪・関西万博のパビリオン展示について

- パビリオン展示は、「①公式参加者パビリオン」、「②テーマ事業パビリオン」、「③日本政府館」、「④自治体館」、「⑤企業パビリオン」の5種類。

① 公式参加パビリオン

- ✓ 万博に参加する各国政府・国際機関が企画するパビリオン

② テーマ事業パビリオン

- ✓ 8人のテーマプロデューサーが企画するパビリオン
- ✓ 「いのち」に関連するテーマをそれぞれ設定し、企画

③ 日本政府館

- ✓ 日本政府（経産省）が企画するパビリオン
- ✓ 「いのちと、いのちの、あいだに」のテーマの下、企画を検討中

④ 自治体館

- ✓ 自治体等が企画するパビリオン
- ✓ 大阪府・市が連携し、「大阪館」を出展予定

⑤ 企業パビリオン

- ✓ 民間企業等が自由に企画するパビリオン
- ✓ 万博の「華」となるパビリオン

《各パビリオンの配置案》



7. 各国への参加招請活動

目標：150か国、25国際機関（愛知博は、121か国、4国際機関が参加）

現状：142の国・地域、8国際機関（2022年10月25日時点公表ベース）

- ◆ 主要国（G7）はすべて参加表明済み。
- ◆ 目標達成に向けて、今後ともあらゆる機会を捉えて政府一丸となって精力的に進めていく必要。

（参考）愛知万博（2005年3月25日～9月25日）との参加表明状況の比較。

最終的な参加国等：121か国4国際機関

- 開幕3年前 24か国
- 開幕2年前 70か国
- 開幕1年前 119か国

7. 各国への参加招請活動

【参加表明した国・地域（142）及び国際機関（8）】

（2022年10月25日時点）

■アジア(19か国)：

インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、韓国、中国、ネパール、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、ブータン、ブルネイ、フィリピン、マレーシア、モンゴル、ラオス

■米州(23か国)：

米国、アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、スリナム、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントクリストファー・ネービス、セントルシア、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ハイチ、パナマ、パラグアイ、ブラジル、ボリビア、ホンジュラス、ベリーズ、メキシコ

■欧州(35か国)：

アイルランド、アゼルバイジャン、アルメニア、イタリア、ウズベキスタン、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、北マケドニア、ギリシャ、キルギス、コソボ、スイス、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、ドイツ、トルクメニスタン、ハンガリー、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マルタ、モンテネグロ、ラトビア、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア

■中東（11か国及び1地域）：

アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、トルコ、バーレーン、ヨルダン、パレスチナ

■アフリカ(40か国)：

アルジェリア、アンゴラ、ウガンダ、エジプト、エスワティニ、エチオピア、ガーナ、ガボン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、サントメ・プリンシペ、ザンビア、ジブチ、ジンバブエ、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マリ、南アフリカ、南スーダン、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、ルワンダ、レソト

■大洋州(13か国)：

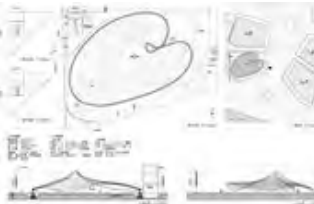
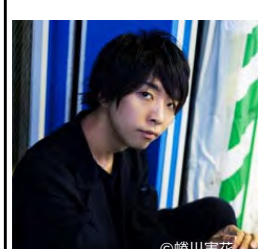
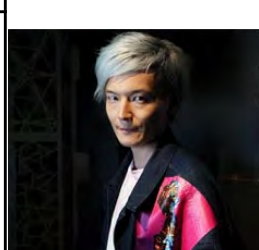
オーストラリア、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア連邦

■国際機関（8機関）：

アフリカ連合委員会(AUC)、イーター国際核融合エネルギー機構(ITER)、欧州連合(EU)、国際赤十字・赤新月運動、国際連合(UN)、太平洋諸島フォーラム(PIF)事務局、太陽に関する国際的な同盟(ISA)、東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局

8. テーマ事業のコンセプト・展示イメージ

- 2022年4月18日に実施した3年前イベントにおいて、テーマ事業の概要を発表。

	いのちを知る プロデューサー 福岡 伸一 生物学者、青山学院大学教授 I AM YOU ～いのち動的平衡～ コンセプト 私はあなた。私は地球。 I AM YOU 建築イメージ 	いのちを拡げる プロデューサー 石黒 浩 大阪大学教授、ATR石黒特別研究所客員所長 いのちの未来 コンセプト 技術と融合することにより、 いのちの可能性を拡げる 建築イメージ 	
	いのちを育む プロデューサー 河森 正治 アニメーション監督、メカニックデザイナー いのちめぐる冒険 コンセプト 今、ここに共に生きる奇跡 建築イメージ 	いのちを高める プロデューサー 中島 さち子 音楽家、数学研究者、STEAM教育家 いのちの遊び場 クラゲ館 コンセプト PLAYFUL LIVES! いのちが躍る、いのちが歌う、いのちがひらく。 生きている！という感覚の発露 建築イメージ 	
	いのちを守る プロデューサー 河瀬 直美 映画作家 いのちのあかし コンセプト “わたし”の中の“あなた”を知る旅 建築イメージ 	いのちを磨く プロデューサー 落合 陽一 メディアアーティスト null² 二つの鏡 コンセプト デジタルヒューマンという新しい身体の写真鏡、 変形構造体建築による新しい風景の鏡、 デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて 磨き輝く命の形を示す 建築イメージ 	
	いのちをつむぐ プロデューサー 小山 薫堂 放送作家、京都芸術大学副学長 EARTH MART Sustainable Dining & Groceries コンセプト 持続可能な社会の実現に向けて 食の「当たり前」をリセットし、 食することの未来を見つめ直す場所。 建築イメージ 	いのちを響き合わせる プロデューサー 宮田 裕章 慶応義塾大学教授 Co-being コンセプト Better Co-being 建築イメージ 	

9. 企業パビリオンについて

- 2月10日に、博覧会協会において、事務総長による記者会見を行い、企業パビリオン出展者名を公表。
- 5月30日に各団体の代表者（社長級）から、パビリオン構想を発表。

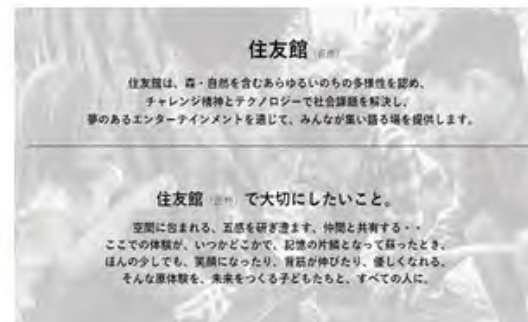
<NTT>



<電気事業連合会>



<住友グループ>



<パナソニック>



<三菱グループ>



<吉本興業>



<パソナグループ>



<ゼリ・ジャパン>



<バンダイナムコ>



<玉山デジタルテック>



<日本ガス協会>



<飯田グループホールディングス>



10. 日本館の基本計画

- 2021年10月から政府出展事業検討会議を開催。日本館の目指す来場者体験や、展示のコンセプト等を盛り込んだ基本計画案を検討。
- 2月下旬よりパブコメを実施し、3月31日に基本計画を策定。今年度は、基本計画に基づき、建築の実施設計・展示の基本設計を実施していく。



<2025年大阪・関西万博 政府出展事業検討会議 委員>

氏名（敬称略）	役職等
池坊 専好	華道家元池坊次期家元 等
古賀 信行	（一社）日本経済団体連合会 審議員会議長
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa（オイラ）代表取締役
佐藤 オオキ	デザインオフィスnendo代表、日本館総合プロデューサー
塩瀬 隆之	京都大学総合博物館 准教授
千 宗室	茶道裏千家家元、大阪・関西万博シニアアドバイザー
鳥井 信吾 （座長）	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長 等
米良 はるか	READYFOR株式会社 代表取締役CEO

佐藤 オオキ（デザインオフィスnendo代表/デザイナー）日本館総合プロデューサー

- 2006年にニューズウィーク誌の「世界が尊敬する日本人100人」に選定。
- デザイン分野を中心に国内外で多数受賞。
- 作品はニューヨーク近代美術館（MoMA）やポンピドゥー・センター（仏）等に所蔵。
- これまでに東京オリパラ聖火台のデザインやミラノ万博日本館のギャラリーを手がける。



11. 日本館の基本計画

● 目指す来場者体験

テーマ： いのちと、いのちの、あいだに - Between Lives -

- 来場者自らが、他のいのちとのつながりや循環の中で生かされている存在であり、地球といういのちの束の一部であることに気づく機会を提供。
- 地球で起こっている持続可能性の問題を「自分たちのこと」として認識し、「炭素中立型の経済社会」や「循環型社会」といった未来社会の実現に向けたアクションを促す。

● 展示のコンセプト

（１）循環（いのちのつながり）の体験

○ 日本館において一つの循環を創出し、象徴的な来場者体験を提供。

- 二酸化炭素や廃棄物を循環に戻していく技術・仕組みを実装。
その結果、生み出されたものを来場者が食する等の体験を提供。

例：万博会場から出される生ゴミを利用したバイオガス発電、
CO2リサイクル技術の活用、
バイオガス発電による電力を利用した藻類の栽培、
藻類等を加工し、来場者が食する等の機会を提供

（期待される効果）

- ✓ 二酸化炭素や廃棄物にも新たな活用方法・役割があるという認識の変化。
- ✓ 発展的に循環のサイクルをつないでいくことで持続可能で豊かな未来社会を構築していく可能性への気づき。

（２）循環とともにある社会の実現に向けた要素の展示体験

○ 日本文化や技術、日本的な発想を手がかりに、以下の3つの要素に着目した展示体験を提供。

① 循環を見据えたものづくり

例：長く使い次に再生しやすく作るための考え方・技術の提示
（着物を最後まで使い切る工夫 等）。

② はかなく小さな生き物

例：石油代替等の分野で期待される微生物の活用の提示
（発酵文化、微生物の活動の可視化 等）。

③ 次のいのちへのリレー

例：日本文化の発展・継承（式年遷宮、伝統芸能 等）を振り返りつつ、私たちがいかに知恵や社会を発展させ次世代に伝えていくかの問いかけ。

（期待される効果）

- ✓ 持続可能で豊かな未来に向けた気づきを得た来場者が、それぞれに具体的な行動を起こしていく。

11. 大阪館（大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn）について

産学官民が連携・協力し、オール大阪で出展



コンテンツイメージ図（一例）

都市移動用のモビリティ

ミライの医療

ミライの大阪の食・文化

名称に込めた思い

- ▶ 外観デザインから着想を得て、**新しいものを生み出す「巣（Nest）」**であることを表現。
- ▶ 大阪パビリオンのテーマである「REBORN」を実現するための「巣」として、未来の大阪の可能性を感じることができる展示をめざす。
- ★内部空間は自然光がこぼれ落ち、風を感じ、屋根を流れる水がまるで水の中にいるような幻想的な空間を演出。
光・風・水に包まれた環境共生建築を体験できる。

出展参加のテーマ：REBORN

- ▶ “「人」は生まれ変わる”、“新たな一歩を踏み出す”という意味をテーマに込めている。

展示ストーリー：ミライの都市生活

- ▶ 未来の大阪の可能性を感じることができる展示を実現させるため、展示全体に「ミライの都市生活」というストーリーを設定し、2050年頃の実現が想定されるミライ都市を描く。

展示構成：来館者のニーズに合わせた体験

- ▶ 来館者のニーズに合わせた体験が選択できるようコンテンツを検討し、子どもから大人まで楽しめるパビリオンをめざす。



12. 未来社会ショーケース事業

- 2025年の万博にふさわしい、未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証を検討中。

未来社会ショーケース事業

スマート モビリティ万博	・会場アクセスバス ・会場内・外周バス ・会場内パーソナルモビリティ ・ロボット（会場サービス） ・空飛ぶクルマ 等	アート万博	・ウォータープラザ水上ショー ・大屋根プロジェクションマッピング ・静けさの森インスタレーション ・パブリックアート ・パレード 等
デジタル万博	・来場者向けパーソナルエージェント、XR案内 ・自動翻訳システム ・高速大容量通信環境 ・大型映像、サイネージ 等	グリーン万博	・DAC+CCS、メタネーションガス ・水素発電、純水素型燃料電池 ・アンモニア発電 ・CO2吸収路面素材 ・次世代太陽電池 ・帯水層蓄熱 等
バーチャル万博	・バーチャル会場 ・XR演出 ・サイバー万博（仮称） 等	フューチャー ライフ万博 フューチャーライフパークを拠点に、様々なアイデアを実装するインキュベーション型事業	・未来の都市、住宅、環境、交通、文化（フューチャーライフパーク） ・未来のヘルスケア（健康医療等データ利活用、医療機器・福祉用具 等） ・未来の食、農業（フードテック、自動化、食文化 等） ・未来への行動（TEAM EXPO 2025ベストプラクティス展示）

(参考) 未来社会ショーケース事業の例

大阪・関西万博バーチャル会場



提供：NTT

- オンライン空間上に夢洲会場を3DCGで再現したバーチャル会場を用意し、AR（拡張現実）やVR（仮想現実）等のバーチャル技術を活用したリアルとバーチャルが相互に連動する様々な取り組みを展開予定。
- 実際に会場に来たくても来ることができない方々が参加できる、インクルーシブな万博を実現する事業。
- NTTドコモを中心としたNTTグループのテクノロジーと知見を活用予定。

来場者移動EVバス



提供：関西電力・Osaka Metro

- 大勢の万博来場者の移動を、よりスマートに、よりクリーンに実現するために、会場アクセスバス・会場内・外周バスに、EV（電気）バス100台を導入予定。
- 自動運転レベル4での運行や走行中給電などの新技術を融合させ、世界でも類を見ない大規模な実証を行う。
- 関西電力、大阪市高速電気軌道（Osaka Metro）、ダイヘン、大林組の4社のノウハウと技術を生かして実施予定。

13. 公式キャラクター

- 2022年3月22日（火）に最終選考委員会委員会が行われ、キャラクターデザインが決定。
- 4月26日（火）～5月16日（月）に愛称の一般募集を実施（応募総数：33,197件）。
7月18日にキャラクター愛称選考委員会において審査を行い、同日に愛称「ミyakumiyaku」を発表。

キャラクターのデザイン



<キャラクタープロフィール>

出生地：関西のどこかにある小さな湧水地

性格：人懐っこいが、おっちょこちょいでよくボカをする

特技：色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること

好きなこと：あらゆる生き物や物事と触れ合うこと

<キャラクターデザインの作者>

グループ名：mountain mountain

作者（代表者）：山下 浩平

生年：1971年

職業：デザイナー・絵本作家

キャラクターの愛称

「ミyakumiyaku」

<最優秀作品 受賞者>（2名からミyakumiyakuの応募あり）

氏名：川勝 未悠(かわかつ みゆう) 氏名：作田 陽向(さくだ ひなた)

○川勝さんのコンセプト

今まで「脈々」と受け継がれてきた私たち人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化。変幻自在なキャラクターは更にあらゆる可能性をその身に宿して、私たち人間の素晴らしさをこれからも「脈々」と未来に受け継いでいってくれるはず。そんな希望を込めて「脈々＝ミyakumiyaku」と名付けました。またミyakumiyaku＝脈であり、生命そのもの。ミyakumiyakuという2音が続く様は、命が続いている音にも聞こえます。

○作田さんのコンセプト

初めてキャラクターを見たとき、赤色と青色が動脈と静脈を連想させたため。また、万博のテーマである、人類文明のつながりや、国際的なつながりを、「脈」という言葉で表せられると思ったため。

○選考委員 aikoさんからのコメント

選考委員に選んでいただいた時は飛び上がるくらい驚きました。関西人としてとても誇らしかったですし、キャラクターに命を吹き込む一員として愛と心をいっぱい込めて選考させていただきました。もはや友達のような気持ちです。大阪・関西万博を通じて多くの人が笑顔になりますように。おもしろい日々を素晴らしい未来をみんなでゲラゲラ笑いながら迎えたいです。

14. 「未来社会の実験場」の具体化

【日本の最新技術や、新しい価値観、新しい社会を世界に示す絶好の機会と捉え、取組を推進】

1. カーボンニュートラル

- 2050年のカーボンニュートラルに向け、日本の最新技術を世界に示す。
- 2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46パーセント削減。

2. デジタル

- デジタルの活用により、多様な幸せを実現できる社会を示す。
- Beyond 5 Gを実装し、2030年代の最新技術を世界にアピール。

3. モビリティ

- 空飛ぶクルマや自動走行ロボットなどを実際に動かし、世界に日本の技術力を示す。
- 空飛ぶクルマや自動走行ロボットなどの社会実装に向け、規制緩和を推進。

4. 健康・医療

- 日本型医療・ヘルスケアサービス等の成果を実装し、世界に向けて発信。
- 世界最高水準の医療の提供に資する研究開発を推進。

【アクションプランの策定（令和3年12月24日 国際博覧会推進本部決定）】

- 大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化に向けた、各省の予算要求や地元からの要望を踏まえた取組、検討状況についてまとめたもの。
- ①モビリティ、②エネルギー・環境、③デジタル、④健康・医療、⑤観光・食・文化、⑥科学技術等の分野別に整理。
- 今後、事業の進捗や博覧会協会・企業・地元自治体等の提案を踏まえながら、少なくとも半年に1回改訂。

15. アクションプランの改訂のポイント

新規施策の追加

- 2021年12月のアクションプラン策定以降、初の改訂。地元からの要望や最新の技術やサービス、イノベーションの動向などを踏まえ、既存の施策の一層の具体化と新たな施策の追加を、幅広い視点で検討。
- 今回の改訂で新たに24施策を追加登録（Ver.1：48施策→Ver.2：72施策）
（分野別の新規施策数）
○エネルギー・環境：3施策 ○デジタル：5施策 ○健康・医療：8施策 ○観光・食・文化：4施策
○科学技術等：4施策
- 健康・医療分野について、「再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信」の追加をはじめ、今回の改訂において大きく拡充（施策数：2施策→10施策）
- 大阪・関西万博において、世界的な課題等を議論するテーマWeekプロジェクトも今回の改訂で追加。

既存施策の具体化

- アクションプランVer. 1に記載の施策も含めて、実装に向けた検討をより充実させるべく、アクションプランの記載項目として、施策の実施期間、実施場所、実施主体を新たに設置。
- また、施策の実装に向けた工程管理を行うべく、新たに工程表も追加。
- 今後も事業の進捗や博覧会協会・企業・地元自治体等の提案を踏まえながら、半年ごとに改訂を重ね、内容の充実を図る。その際、新たな施策の追加の検討に加え、工程表を活用して、既存の施策の工程管理を行い、施策の実装に向けた着実な準備を進めていく。

（参考）アクションプラン改訂までの動き

①自民党大阪・関西万博推進本部制度改革PT（座長：世耕弘成）

4月5日第1回（議題：空飛ぶクルマ） 5月16日第4回（議題：デジタル） 4月28日第2回（議題：エネルギー・環境） 5月26日第5回（議題：とりまとめ） 5月9日第3回（議題：健康・医療）

②若宮前国際博覧会担当大臣へ大阪・関西万博推進本部制度改革PTの提言手交 6月2日

③大阪・関西万博関連事業に関する地元要望：5月24日大阪府知事、大阪市副市長、関西広域連合本部事務局長、関西経済連合会副会長、大阪商工会議所副会頭、日本国際博覧会協会事務総長による2025年日本国際博覧会関連事業に関する政府への要望書の申し入れ
（要望先）松野官房長官、若宮万博担当大臣、萩生田経産大臣、自民党、公明党

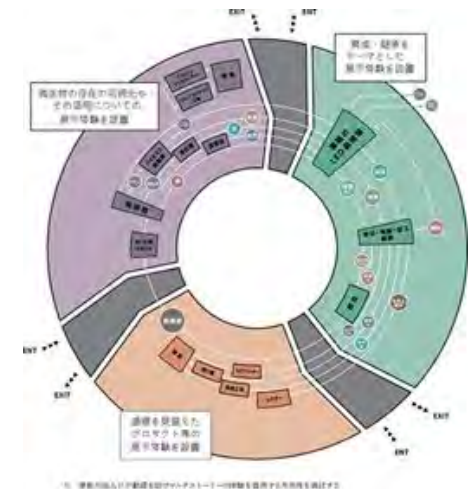
15. アクションプランの全体像①

No.1 モビリティ（追加施策なし）

- ①次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（経済産業省）④自動運転の一層の推進（デジタル庁、内閣府、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省）
空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備の推進（国土交通省）
- ②自動配送ロボットのサービス提供（経済産業省）
- ③MaaSなどの新たなモビリティサービスの推進（国土交通省）
- ⑤電動車の活用拡大（環境省・国土交通省）

No.2 エネルギー・環境（3施策追加）

- ①水素発電技術・アンモニア発電技術の実証（経済産業省）
- ②2030年度目標及び2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素先行地域の実現（環境省）
- ③CO2の分離・回収技術の実証（経済産業省）
- ④CO2排出削減・固定量最大化コンクリートの実証（経済産業省）
- ⑤内航船の革新的な運航効率化に関する実証（国土交通省・経済産業省）
- ⑥次世代型太陽電池の開発推進（経済産業省）
- ⑦建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業（環境省）
- ⑧木材利用拡大の促進（農林水産省）
- ⑨次世代グリーンデータセンター技術の発信（経済産業省）
✓ 省エネ化に資するグリーンデータセンターの研究開発成果を発信
- ⑩再エネ水素を使ったメタネーション実証（環境省）
- ⑪資源循環に関する実証・展示（経済産業省・環境省）
- ⑫バイオマス由来の生分解性容器等の循環処理・資源化に関する実証（経済産業省）
- ⑬行動変容を促す資源循環のナッジ実証（経済産業省）
- ⑭日本政府館における展示体験（経済産業省）
✓ 大阪・関西万博のホスト国としてプレゼンテーションする拠点として、大阪・関西万博のテーマの具現化や、日本の取組の発信等を行う



- ⑮大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現（環境省）

15. アクションプランの全体像②

No.3 デジタル（5施策追加）

- ①Beyond 5G ready ショーケースの実現（総務省）
- ②多言語翻訳技術の高度化（総務省）
- ③デジタル田園都市国家構想に関連するデジタル実装モデルの海外発信・展開
(内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局)
- ④デジタルツインを活用した次世代エンタメ・サービス（経済産業省）
 - ✓ デジタルツインを構築し、リアル・サイバーの両空間を組み合わせたユースケースを創出
- ⑤地域データの可視化によるデータ連携・データ利活用の推進
(内閣府地方創生推進事務局)

⑥万博会場を活用した先端テクノロジーの実証（経済産業省）

- ✓ 量子・AIを用いたアプリケーション開発のコンテスト開催等を検討



⑦大阪・関西万博と連携したeスポーツの発信（経済産業省）

- ✓ 国際大会と高校生対象の大会の2つのジャンルの大会を開催予定



⑧デジタル学園祭&未来創造コンテスト（仮称）（経済産業省）

- ✓ 中高生等を対象とし、テクノロジーを活用して社会課題を解決するコンテストを実施

No.4 健康・医療（ライフサイエンス）（8施策追加）

- ①再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信（厚生労働省）
- ②医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業の採択者による体験コーナー（経済産業省）
- ③日本の先進的な医薬品等の情報発信（厚生労働省）
- ④障害者自立支援機器等開発促進（厚生労働省）
- ⑤優良なアイデア・事業の審査への参画（ヘルスケアビジネスコンテストの開催）（経済産業省）
- ⑥介護ロボット等テクノロジーの普及（厚生労働省）
- ⑦スマート・ライフ・プロジェクト～健康寿命を延ばそう！～（厚生労働省）

⑧認知症バリアフリーの取組推進（厚生労働省）

⑨世界にユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)を発信

(厚生労働省)

⑩Personal Health Record (PHR) を活用した万博体験（経済産業省）

- ✓ 個人の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験の提供等を検討



15. アクションプランの全体像③

No5 観光・食・文化（4施策追加）

①地域ツーリズム促進事業(内閣官房国際博覧会推進本部事務局)

②DXの推進による観光サービスの変革と観光需要の創出（観光庁）

③大阪・関西万博の機会を活用した訪日プロモーション（観光庁）

④未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や食文化の情報発信（復興庁・経済産業省）

⑤日本食文化・農泊体験の発信（農林水産省）

⑥増大する食料需要等に応える代替肉・代替飼料などのフードテック新事業創出の推進（農林水産省）

⑦食品ロス削減の普及啓発（消費者庁）

⑧食品ロス削減に向けた飲食物の食べきり、フードシェアリングの徹底等の運動推進（農林水産省）

⑨「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたプロジェクト（農林水産省）

⑩月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発（農林水産省）

⑪日本の食文化の発信（文部科学省）

⑫日本産酒類の情報発信（財務省）

太字：経産省施策 下線：追加施策 太字赤下線：経産省追加施策

⑬被災地から生まれる未来社会に向けた最新技術の情報発信（復興庁・経済産業省）

⑭「日本博2.0」の展開（文部科学省）

⑮クールジャパンの総力を結集した機運の醸成と戦略の改定（内閣府知的財産戦略推進事務局）

⑯日本のアニメ等のコンテンツの対外発信（経済産業省）

- ✓ 日本のアニメを始めとする魅力あるコンテンツを最新技術を活用して海外に発信するため、バーチャル万博に、コンテンツを紹介する展示ブースを設けることや催事を想定

バーチャルEXPO上の日本館



⑰日本の工芸品の対外発信（経済産業省）

- ✓ 伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示等を検討中



15. アクションプランの全体像④

No6 科学技術・テーマプロジェクト等（4施策追加）

①テーマWeekプロジェクト（内閣官房国際博覧会推進本部事務局）

②情報統合研究事業 ガーディアンロボット（次世代ロボットの研究開発）
（文部科学省）

③ロボットフレンドリーな環境の実現（経済産業省）

④防災DXを活用した博覧会会場での実証試験（文部科学省）

⑤リモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発
（総務省）

⑥緊急事態対応における無人航空機の活用及び有人機・無人機連携技術の研究
（警察庁）

⑦ムーンショット型研究開発制度（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）

⑧戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）

⑨スマート×グリーン技術の実証（農業）（農林水産省）

⑩スマート×グリーン技術の実証（林業）（農林水産省）

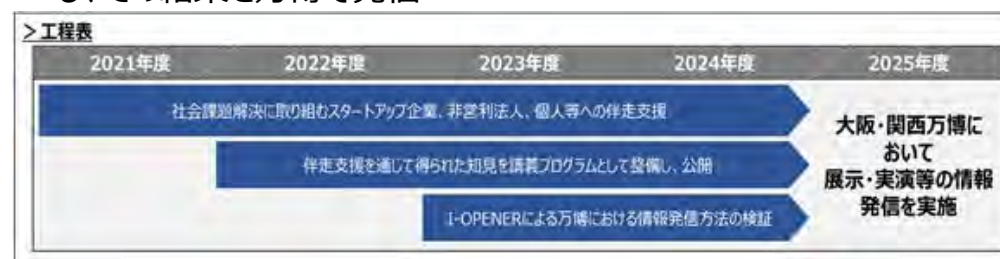
⑪スマート×グリーン技術の実証（水産業）（農林水産省）

⑫海洋関係の取組発信（内閣府総合海洋政策推進事務局）

太字：経産省施策 下線：追加施策 太字赤下線：経産省追加施策

⑬I-OPENプロジェクト（知的財産の活用による社会課題解決）（経済産業省）

✓ 知的財産を活用して社会課題解決を行う者（I-OPENER）を支援し、その結果を万博で発信



⑭万博会場を活用した未来思考の中小企業の魅力・価値の発信（経済産業省）

✓ 未来思考のものづくり技術等を有する中小企業の魅力・価値を世界に発信

⑮女性活躍推進館（仮称）出展事業（内閣府男女共同参画局、経済産業省）

✓ 万博の場でも「女性活躍推進館（仮称）」出展を通じ、日本としての取組を見せていく。



「国際女性の日」に当たっての岸田内閣総理大臣ビデオメッセージ（首相官邸HP）

16. 大阪・関西万博への参加

■ パビリオン出展

①各国パビリオン、②日本館、③テーマ館、④自治体館、⑤民間パビリオンとして出展。

※上記③の8名のプロデューサーが企画するテーマ事業の協賛。

■ 催事参加

万博会場内の大催事場、小催事場、メッセ等にて展示やイベントを実施。

※2023年度以降に募集を開始予定。

■ TEAM EXPO 2025

共創チャレンジや共創パートナーとしてTEAM EXPO 2025プログラムに参加。

※応募は随時募集中。

■ 会場整備・運営参加

万博会場の運営に必要な物品、役務、サービス等の協賛。

※2024年までに6回に分けて募集予定。

■ 営業参加

営業施設を万博会場内に出店、ロゴマークやキャラクターを活用したライセンスビジネスの実施。

■ 広報参加

広報プロモーションを実施するためのメディアやコンテンツ等の協賛や指定寄附。

※現在募集中。

17. 催事関係（催事施設の配置）



※2023年度以降に主催者催事の協賛募集を開始し、2024年度に参加催事募集を開始予定。
 ※施設の規模や仕様は現時点の想定のため、今後変更となる場合がございます。また画像はイメージです。

18. 「TEAM EXPO 2025」プログラム

- 大阪・関西万博のテーマを実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指すプログラム。
- 共創チャレンジ703件、共創パートナー237件の登録あり（2022年9月末時点）。

共創チャレンジ (703件)

自らが描く未来の実現に向けた1つ1つのアクション

分野を問わず、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動。

共創パートナー (237件)

複数の共創チャレンジの創出・支援をする法人・団体

それぞれが持つ強み（人的ネットワーク、人資源・ノウハウ、資金、フィールド、情報発信力など）を活かして、多様な共創チャレンジの創出・支援を担っていただく法人・団体等。

「TEAM EXPO 2025」プログラム ロゴマーク



活動に関連する用途に
限定し、ロゴマークを
無料で使用可能。



「TEAM EXPO 2025」プログラム 広報チラシ

(参考) 「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジ事例紹介

世界同時1000人やぶさめ立射演武チャレンジ

- 「流鏑馬立射演武」の普及を目的に、指導の巡回教室を日本国内で開催や、解説動画を制作を行う。
- 万博のサブテーマ Connecting Livesにフォーカスし、広い地域とパートナーシップを組み、その成果を万博で発表することを目標とする。



日本太鼓財団大阪府支部presents和太鼓 海祭

- 日本の伝統文化である和太鼓の認知を目的に、和太鼓演奏を披露し、元気と笑顔を届ける活動を実施。大阪・関西万博の機運醸成を目的に
- 和太鼓演奏を行う他、インターネットを活用して広く活動を展開予定。



大阪国際マンガグランプリの開催

- 日本のマンガ文化の求心力を活用し、関西で潜在化している日本を象徴する伝統や歴史的遺産を国内外に広く伝達。
- 世界平和に貢献することを目指す。



アートで世界を救う!

世界最大級の「電子機器の墓場」への宣言

- ガーナと世界の平和を願い、アート制作による周知活動を実施。
- 「#スラム撲滅」をテーマとし、2030年までにエコタウンを作り、現地の環境・貧困問題を解決することで「いのち輝く未来社会」の実現を目標にしている。



(参考) 大阪・関西万博における建材リユースの促進

- サーキュラーエコノミーの実現を目指すべく、万博会場の「大屋根リング」については、万博閉会後解体し、地方公共団体・民間事業者等へ資材提供を検討中。

【提供内容案】

○**時期** : 2025年10月中旬～2027年2月末（予定）

○**提供物** : 大屋根リングの柱・梁を単一部材に解体予定。

（※）今後実施設計にて変更の可能性あり

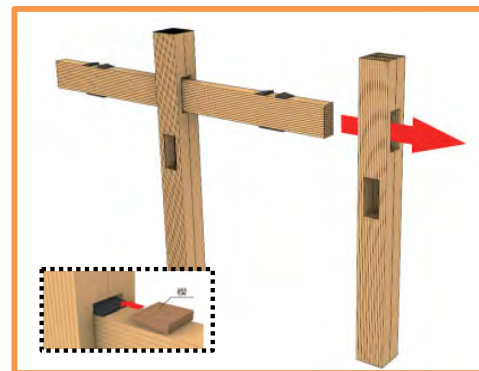
（柱材）欧州赤松 集成材 サイズ420mm×420mm× 約2～3m、約8,900m³

（梁材）国産杉、檜 集成材 サイズ420mm×210mm× 約1～5m、約9,200m³

○**引渡し** : **【地方公共団体】**地域経済再生策に寄与することを条件に、無償譲渡が可能。

【民間事業者等】残存簿価を最低価格とした入札による有償売却。

※引渡しに係る移送費は、引取先負担を想定。



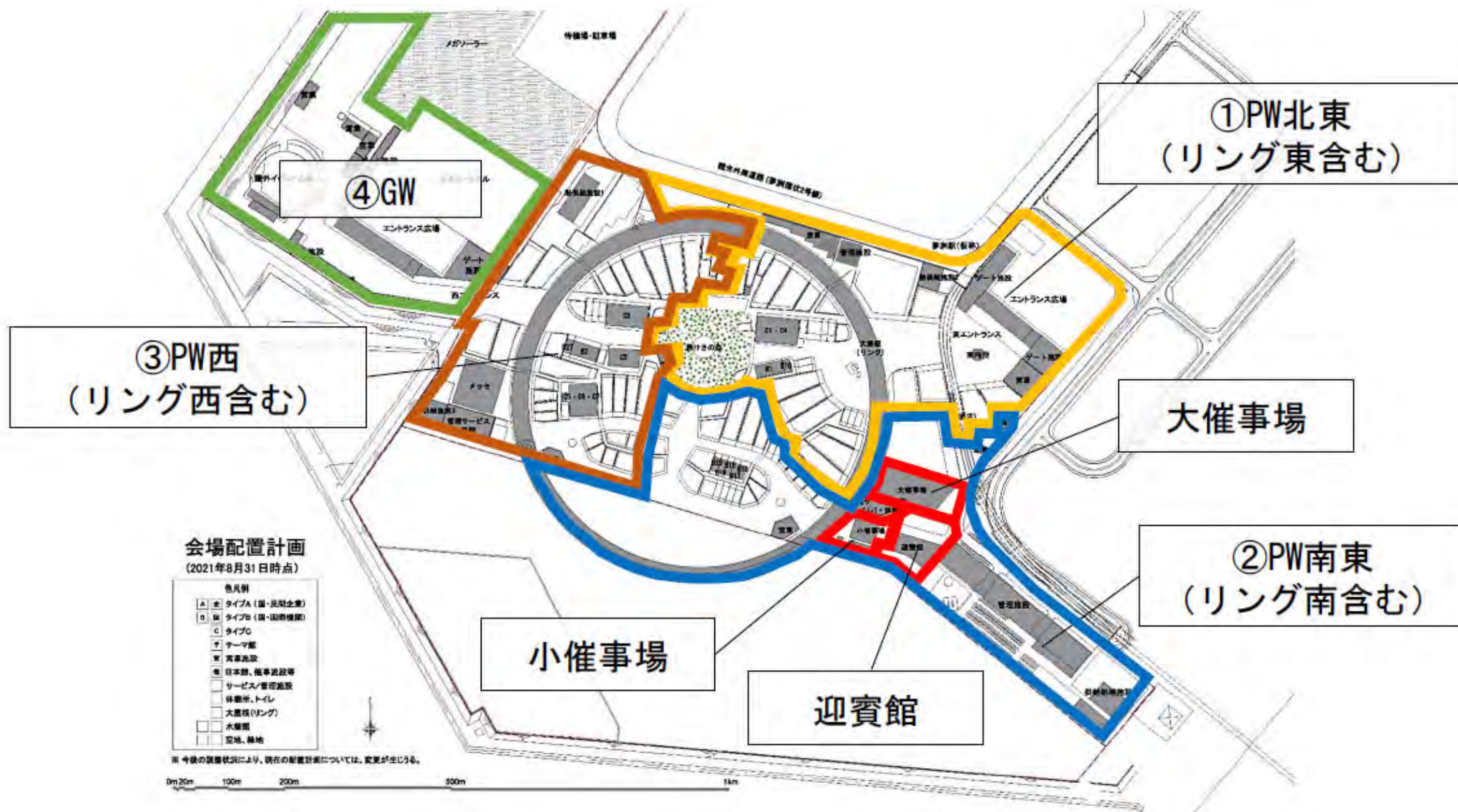
【連絡先】

○ **2025年本国際博覧会協会 持続可能性部 TEL : 06-6625-8718**

（※）大屋根リング以外のリユースにご関心のある方も上記窓口へ御連絡ください。

(参考) 万博会場の建築工事の工区割

- デザインビルド（設計・施工・撤去一括）方式で、4月18日から順次公募を実施中。



(参考) プロデューサー

■会場デザイン・プロデューサー

		経歴等
藤本 壮介 (ふじもと そうすけ) 建築家 (1971年生まれ)		北海道出身。東京大学特任准教授。藤本壮介建築設計事務所主宰。 2000年 青森県立美術館設計競技2位（優秀賞） 2004年 日本建築家協会JIA新人賞 2008年 日本建築大賞受賞 2012年 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 金獅子賞

■会場運営プロデューサー

		経歴等
石川 勝 (いしかわ まさる) プランナー、プロデューサー (1963年生まれ)		北海道出身。株式会社シンク・コミュニケーションズ代表取締役。 2005年愛知博チーフプロデューサー補佐。 2008-2015 技術戦略マップ（コンテンツ分野）委員。 2007-2017 経産省デジタルコンテンツEXPO エグゼクティブプロデューサー。 2011年 クールジャパン事業（フランス）プロデューサー。

■催事企画プロデューサー

		経歴等
小橋 賢児 (こはしけんじ) (1979年生まれ)		東京都出身。The Human Miracle株式会社 代表取締役。 1988年～ 8歳で芸能界デビュー。以降数々のドラマや映画、舞台に出演。 2007年～ 「DON'T STOP」で映画監督デビュー(2012年) 2014年～ 世界最大級のエレクトロダンスミュージックフェスティバル 「ULTRA JAPAN(2014年-)」クリエイティブディレクター 2021年 「パラリンピック2020東京大会」閉会式・総合演出ディレクター。

(参考) アンバサダー

- 「大阪・関西万博の顔」として万博の魅力を伝えるため、博覧会協会は2020年2月に「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」を任命。



コブクロ
ミュージシャン



佐渡 裕
(さど ゆたか)
指揮者



ダウNTOWN
タレント

宝塚歌劇団

©宝塚歌劇団



聖乃 あすか
(せいの あすか)



風間 柚乃
(かざま ゆの)



縣 千
(あがた せん)



極美 慎
(きわみ しん)



風色 日向
(かぜいろ ひゅうが)



松本 幸四郎
(まつもと こうしろう)
歌舞伎俳優



山中 伸弥
(やまなか しんや)
京都大学iPS細胞研究所 教授、
公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団 理事長

(参考) シニアアドバイザー



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



**ロバート
キャンベル**
早稲田大学特命教授



**コシノ
ジュンコ**
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学 前学長／
全学研究機構長
人間環境デザインプログラム教授



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

(参考) 1000日前カウントダウン記念イベントの実施について

- 大阪・関西万博について、全国的な機運醸成を図るため、7月18日（月）夜、東京@スカイツリーと大阪@USJにて、1000日前のカウントダウン記念イベントを同時開催した。
- 東京のイベントでは岸田総理と細田前万博担当副大臣が出席し、万博公式キャラクターの愛称「ミャクミャク」を発表するとともに、スカイツリーの点灯式を実施し、テーマソングを紹介。
- 大阪のイベントでは若宮大臣が出席し、岸田総理のビデオメッセージを放映するとともに、万博公式キャラクターの愛称の発表や、コブクロによるテーマソングの発表・歌唱等を実施。

東京イベント

日 時：7月18日 19：20～20：00

場 所：スカイツリー ドームガーデン

登壇者：岸田総理、細田前万博担当副大臣、十倉会長、関ジャニ∞村上氏、Aえ！group、新井アナウンサー

内 容：岸田総理、十倉会長から御挨拶
公式キャラクターの愛称「ミャクミャク」発表
オフィシャルテーマソング「この地球の続きを」
紹介
スカイツリー点灯式



キャラクター

大阪イベント

日 時：7月18日 18：30～20：00

(※) 前半は「大阪来てな観光キャンペーン」イベント（大阪府市が主催）実施
(※) 後半の1000日前イベントは博覧会協会主催。東京・大阪で一体開催

場 所：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

登壇者：若宮前大臣、吉村大阪府知事、松井大阪市長、石毛事務総長、仁坂関西広域連合連合長、松本関経連会長、その他関係経済団体、NMB48渋谷凪咲氏、コブクロ 等

内 容：若宮大臣・関係者から御挨拶
公式キャラクターの愛称発表
オフィシャルテーマソング「この地球の続きを」
⇒（コブクロより発表・歌唱）

(参考) 1000日前カウントダウン記念イベントの当日の様子

東京イベントの様子



スカイツリー点灯



大阪イベントの様子



Minions and all related elements and indicia TM & © 2022 Universal Studios. All rights reserved.
TM & © Universal Studios. All rights reserved.

(参考) 全国知事会との連携

- 2022年7月28日（木）全国知事会議 @奈良県（オンライン参加）
- 大阪・関西万博に向けて、全国の知事の協力・支援を頂きながら、国と博覧会協会とも一体となって全国的に機運を高めるとともに、万博を地域活性化の絶好の機会として、成長・発展のために取り組んでいただくよう、若宮前大臣から協力を依頼。
- 全国知事会に「大阪・関西万博推進本部」（本部長：平井鳥取県知事、副本部長：吉村大阪府知事）の設置が決定される。



(参考) 万博首長連合

- 「2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合」(万博首長連合)は、日本全体の発展とともに万博レガシーの構築を目指す市区町村長の連合体。
- 大阪・関西万博の機運情勢を図りながら、全国の自治体と企業との連携を促進し、地域文化の発信や未来づくりを支援する。
- 万博会場を軸とした地場製品の展示や広域観光ルートの造成等を検討中。

- 万博を大阪・関西のみならず、オールジャパンで取り組み、全国の機運を醸成することを目的として、令和3年11月に設立（令和4年10月12日現在625の自治体が加入）。
- 令和4年6月1日に第2回総会を開催。来賓として萩生田前経済産業大臣、若宮前国際博覧会担当大臣、吉村大阪府知事、石毛博覧会協会事務総長等が出席（右図）。
- 万博の3つのサブテーマ（いのちに力を与える、いのちをつなぐ、いのちを救う）を基に、ワーキンググループを立ち上げ、今後、参加自治体で情報交換や議論を行い、具体的なプロジェクトも検討。
- また、万博や地方創生についてのSNSやメディアでの情報発信やセミナー等を定期的に実施。

万博首長連合 体制

役員		
会長	阪口 伸六	高石市長
会長代行	田中 幹夫	南砺市長
副会長	立谷 秀清	相馬市長
	古口 達也	茂木町長
	滝沢 亮	三条市長
	末松 則子	鈴鹿市長
	千代松 大耕	泉佐野市長
	澤井 宏文	松原市長
	西村 和平	加西市長
	長野 恭紘	別府市長
	高橋 邦芳	村上市長
	小林 豊彦	弥彦村長

監査役

顧問等

国定 勇人	衆議院議員（前会長 前三条市長）
石原 正敬	衆議院議員（前会長代行 前菰野町長）
樋渡 啓祐	樋渡社中代表（前武雄市長）
菊池 尚人	慶應義塾大学特任教授
橋爪 紳也	大阪府立大学研究推進機構 特別教授
齋藤 精一	パノラマティクス主宰
小橋 賢児	The Human Miracle 株式会社 代表取締役 クリエイティブディレクター

第2回総会でのフォトセッション



右から阪口万博首長連合会長（高石市長）、吉村大阪府知事、萩生田前経済産業大臣、若宮前国際博覧会担当大臣、石毛博覧会協会事務総長。

(参考) 大阪・関西万博記念自動車プレート

- 全国的な機運醸成、意識の高揚を図る観点から大阪・関西万博特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレートを期間限定（2025年までの間）で全国の希望者に交付していく。
- 約半年間の視認性試験が終了し最終デザインが決定。6月10日(金)国土交通副大臣からデザインを発表。
- ナンバープレートは寄付金(1,000円以上)の有無で2種類準備。
- 交付金額は全国平均で8,413円、大阪地区の場合は8,400円。（中板2枚1組）
- 事前申込：2022年9月26日（月）～
交付期間：2022年10月24日（月）～2025年12月26日（金）

ナンバープレートデザイン

寄付あり



寄付なし



《デザイン発表の様子》



(参考) 博覧会協会の最新の体制

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別措置法成立

2019年5月31日
経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行う法人に指定

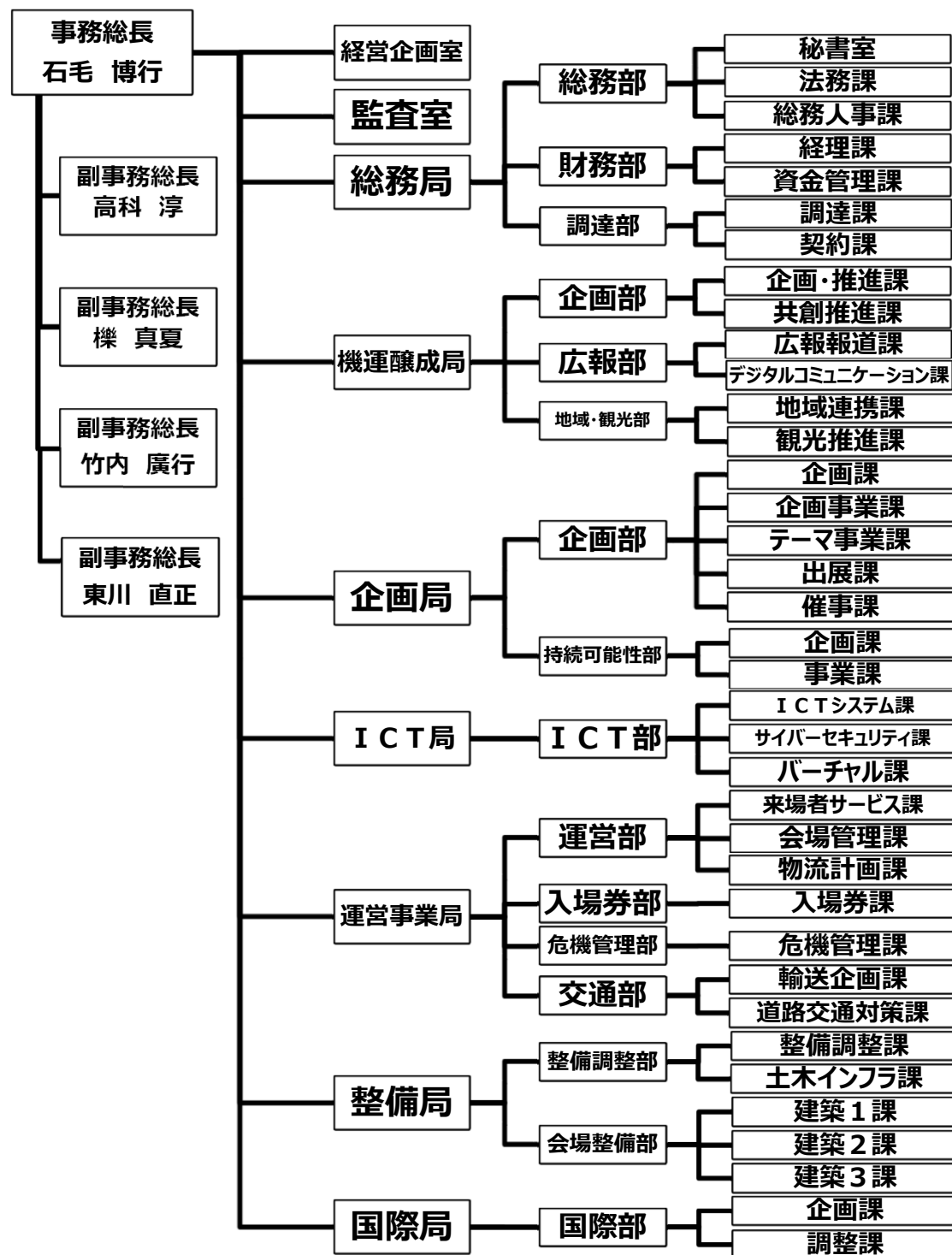
2019年10月21日
内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」となる

○人員

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県

市・経済界等より職員を派遣 (約480名)

【事務局組織図】



日本の工芸品の対外発信

連絡先 経済産業省製造産業局生活製品課
03-3501-0969

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/nichiyo-densan/index.html

> 方針・実施概要

万博を契機とした日本の工芸品の対外発信を推進するため、伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示や、ライフスタイルの変化を踏まえた新たな工芸品と異分野連携、海外からの来訪者に向けた和装や邦楽器によるイベントの実施等を検討中。

> 実装に向けた検討状況

(実施期間) 展示は、開催期間中の実施を想定。

(実施場所) 会場内での展示、実演等を想定

(実施主体) (一財) 伝統的工芸品産業振興協会等を想定

(予算) 令和4年度予算額：－

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/nichiyo-densan/index.html



> 工程表

